

平成18年度（第2回） 定時総会開催される

去る4月21日（金）午後2時00分より135名の出席をえて、甲南町・忍の里プララにて平成18年度（第2回）定時総会が開催されました。

初めに、会長の田代陽平の挨拶に続いて、来賓の甲賀市助役今井恵之助様より祝辞をいただきました。

続いて、会長が議長を務め、さっそく議案の審議にはいりました。

第1号議案平成17年度事業報告、第2号議案平成17年度収支決算、第3号議案平成18年度事業計画、第4号議案平成18年度収支予算、第5号議案会則の改正について提案がなされ、審議の結果、いずれも満場一致で承認されました。

総会終了にあたり、田代議長より甲賀市企業人権啓発推進協議会設立後、無事2年目を迎えることが出来たことについて、会員および関係各位に感謝するとともに、今総会で確認された事業計画への会員各位のますますの支援ならびに協力をお願いしたい旨の挨拶があり、総会は閉会となりました。

総会終了後、特別研修として甲賀・湖南人権センター共催による“松村智広さん”の講演会が開催されました。

研修が終了し、役員一同、本日の行事が会員各位のご協力により滞りなく終えることが出来ましたことに感謝し終了となりました。



平成18年度 事業計画

4月	総会 研修「差別事件の現状と課題」 講師／松村 智広 氏
6月	広報誌 第3号発行
7月	就労困難者についての研修 企業内同和問題啓発強調月間 啓発グッズ配布
8月	人権パネル展
10月	フィールドワーク
10月 ～11月	各ブロック単位研修
12月	人権標語募集 広報誌 第4号発行
1月～	会員拡大の取り組み

特別研修

「差別事件の現状と課題」

（財）反差別・人権研究所みえ

主任研究員 松村 智広 氏



企人協総会終了後、特別研修として松村氏にご講演をいただきました。松村氏は人権研修にかけてはかなり有名な方で日本各地で講演をなされているようですが私は初めてお話を聞かせていただきました。講演が始まるとさすがに巧みな話術で会場の雰囲気壊す事無く、まるで落語を聞いているような感じで聞かせていただきました。

話も終盤になり、ひとりの青年が被差別部落の生まれである事を隠し通さなければならない実情を話されている中で、私の頭の中に「小口雅之」というボクサーを思い浮かべてしまった。彼は有名なボクサーでないで知る人は少ないと思いますので新聞記事から紹介させていただきます。

セミファイナルのSフェザー級8回戦で前代未聞の珍事が起こった。小口雅之（28）一草加有沢一が着用していたカツラが試合途中にずれまくり、リング上で思わぬ“カミングアウト”。5回からカツラを外し、邪念も消えた小口は怒りの猛ラッシュし、力強い連打で柴田を追い込み、見事7回TKO勝ちを飾った。

“異変”は3回途中から。頭頂部を覆う形のカツラが、相手のパ

ンチをもらうたびにフワリ、フワリと浮き上がる。リング上のかつてない光景を“聖地”のファンはかたずをのんで見守った。4回には一層、ずれ具合が顕著となり、ついに4回終了後にトレーナーがカツラを取り外した。一瞬の間を置き、会場から「その方がカッコいいぞ」との声援が飛び交った。

小口は普段は丸刈りで、カツラを着用したのはこの試合が初めて。「3ラウンドあたりから浮き出して落ち着かなかった。次はもうつけません」と恥ずかしそうに苦笑い。日本ボクシングコミッションは、リング上ではシューズ、トランクス、ノー・ファウル・カップ以外の着用は認めていないが、今回は「悪意のないもの」と判断し“特例”として認められた。（デイリースポーツ 2005.12.14 7面）

こんな発想は失礼と思ひながら、なぜ彼はカツラをつけてリングに上がったのかはわかりませんが、人は誰でも大なり小なり秘密を隠し持っている、その秘密が他人から見れば小さな事でも自分自身にすれば隠し通す為にその話題から逃げたり、また口を閉ざしてしまう。彼はカツラが取れたことで試合に集中でき見事勝利に結びつけた。

今回、話の中の青年も出来ればそのような悩みをすて、生まれ育った故郷を堂々と紹介出来るようになっていたきたい、そんな方々がいっぱいおられる事実、現実を私たちは理解し、もっともっと勉強しなければならないと思いました。

研修部長 加藤 弘明